Area3

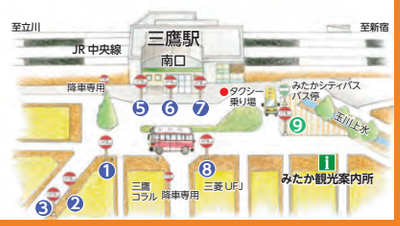
Mitaka Walking Map

Area 3 太宰治の足跡コース

Historic Footsteps of the Japanese Author, Dazai
太宰治的足迹
다자이 오사무의 발자취 코스

三鷹駅からのアクセス

◎太宰治のお墓がある禅林寺 11
停留所 5 鷹51「国際基督教大学、調布駅北口、調布飛行場、大沢/大沢十字路」
停留所 6 鷹52「榊原記念病院/多摩駅、朝日町三丁目、車返団地」
停留所 7 鷹54「仙川/新川団地中央、晃華学園東」
停留所 3 鷹65「深大寺/神代植物公園前」
降車バス停▶「八幡前」(約5分)



太宰の足跡：全て訪れるコース

約6.7km　2時間50分コース

START 三鷹駅南口 2分 → 1 太宰治展示室（滞在時間約15分） 10分 → 2 陸橋（滞在時間約5分） 10分 → 3 中鉢家跡 5分 → 4 田辺肉店離れ跡 3分 → 5 太宰治文学サロン（滞在時間約25分） 3分 → 6 野川家跡 3分 → 7 小料理屋「千草」跡 5分 → 8 玉鹿石 10分 → 9 旧居跡のさるすべり 15分 → 10 新橋付近 25分 → 11 禅林寺（滞在時間約15分） 20分 → GOAL 三鷹駅南口

太宰の足跡：お墓参りコース

約3.1km　1時間30分コース

START 三鷹駅南口 2分 → 7 小料理屋「千草」跡 2分 → 5 太宰治文学サロン（滞在時間約25分） 2分 → 4 田辺肉店離れ跡 15分 → 11 禅林寺（滞在時間約15分） 20分 → GOAL 三鷹駅南口

太宰が暮らし歩き執筆し飲んだ三鷹を感じてほしい

Walk through Dazai's footsteps, where the literary legend drunk and devoted to his works

希望可以让您体验到太宰在三鹰生活，散步，写作，饮酒的感受

다자이가 생활하고, 걷고, 집필하고 술을 마셨던 미타카를 느껴 주시길

写真提供：日本近代文学館

作家太宰治は、1939年（昭和14）9月1日東京府北多摩郡三鷹村下連雀（現東京都三鷹市下連雀）に転居してきました。そして、1948年（昭和23）6月に自死するまでの9年間に、「走れメロス」「斜陽」「人間失格」などの作品を発表しました。
この『太宰治足跡コース』は、そんな三鷹時代を偲ぶよすがとしてガイドするものです。ゆかりの場所は形をとどめていませんが、太宰が暮らし歩き執筆し飲んだ三鷹を、時空を超えて感じていただければ幸いです。

1 太宰治展示室 三鷹の此の小さい家（三鷹CORAL 5F 三鷹市美術ギャラリー内）

Dazai Osamu Exhibit Room - This small house in Mitaka
太宰治展室 三鹰小屋遗址
다자이 오사무 전시실 미타카의 이 작은 집

太宰治の自宅を一部再現。「常設展示室」「企画展示室」「体験型展示室」に加え、縁側から太宰が描いた書画を眺められるスペースもある。

10:00～18:00　☎0422-79-0033
休館：月曜（月曜が祝日の場合は開館し、翌日と翌々日を休館）、年末年始 ※展示替えのための臨時休館あり
無料

傑作の多くは太宰の三鷹時代に生まれた。仕事部屋の跡地を訪ねてみよう！

2 陸橋（三鷹跨線人道橋）跡

Rikubashi
陆桥
육교 (미타카 과선인도교)

1929年（昭和4）に造られた。この近くに仕事部屋があった太宰治は、この陸橋が好きで『いいところがある』と言って、編集者や弟子を連れて来ていた。老朽化のため、2023年（令和5）12月に閉鎖され、撤去されている。

3 中鉢家跡（現・藤和シティスクエア）

The Former Nakabachi Family Residence Site
中钵家旧址　나카바치가(中鉢家)터(현 도와 시티스퀘어)

太宰治が疎開先金木町から三鷹に帰り、最初に仕事部屋としたところで、「朝」に登場する。ここでは「メリークリスマス」「ヴィヨンの妻」を執筆した。

4 田辺肉店離れ跡（現・ムサシ三鷹ビル）

The Former Tanabe-Nikuten's Annex Site
田边肉店分馆旧址　다나베 정육점 별채 터

太宰治は神奈川県下曽我雄山荘の太田静子の元を訪れ、日記を借りて伊豆の三津浜「安田屋旅館」で「斜陽」を起稿する。ここは、2番目の仕事部屋で第3章以降を書き上げた。「犯人」は、田辺肉店が舞台となっている。

5 三鷹市太宰治文学サロン

Dazai Osamu Literary Salon
太宰治文学沙龙
다자이 오사무 문학살롱

“太宰が生きたまち三鷹”の拠点となり、情報交流と発信の場そして市民の交流の場となっている。太宰が通った酒屋「伊勢元」の跡地に2008年（平成20）3月、開設され、2022年（令和4）3月にブックカフェ機能を追加しリニューアルした。
10:00～17:30　☎0422-26-9150
休館：月曜（月曜が祝日の場合は開館し、翌日と翌々日を休館）、年末年始　無料

6 野川家跡（現・永塚葬儀社）

The Former Nogawa Family Residence Site
野川家旧址　노가와가(野川家)터(현 나가쓰카(永塚) 장의사)

美容師山崎富栄が、三鷹駅前の美容院で働くため下宿した場所。太宰治が1947年（昭和22）の初秋から仕事部屋にした場所。2人は遺書を置き、遺品を片付け、1948年（昭和23）6月13日未明、玉川上水に・・・。

7 小料理屋「千草」跡（現・Brillia MITAKA）

The Former Diner Site, Chigusa
小饭馆“千草”旧址　일식 요리집 '지구사(千草)' 터

作家仲間・編集者との打合せの場所でもあった小料理屋。2階を仕事部屋にもした。太宰治の行方不明後は捜索本部となり、遺体発見後は検死場所となった。主人鶴巻幸之助さんは、桜桃忌の御世話をしていた。

8 玉鹿石

Gyokkaseki
玉鹿石
옥록석(玉鹿石)

太宰治と山崎富栄が入水した場所の近くに設置。太宰治は玉川上水を散歩する時、滝のような流れだったこの場所が好きだった。よく編集者や作家仲間を連れてきていた場所。故郷金木町（現：五所川原市）産の玉鹿石が置かれている。

10 新橋付近

Shinbashi Bridge Area
新桥周边
신바시(新橋) 부근

当時の玉川上水は「人食い川」と呼ばれるほど急流で水量も多く、太宰治と山崎富栄の捜索は、多摩川羽村の取水口で取水制限をして行われた。そして、上水に架かる新橋付近で、紐で結ばれた2人が発見された。奇しくも太宰治の誕生日6月19日だった。

11 禅林寺（黄檗宗）

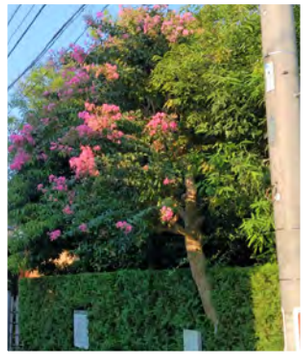
Zenrinji
禅林寺
젠린지(禅林寺)（황벽종）

1700年（元禄13）創建の禅寺。「花吹雪」に「この寺には森鷗外の墓がある。(中略) 墓地は清潔で鷗外の文章の片影がある。私の汚い骨もこんな小綺麗な墓地の片隅に埋められたら、死後の救いがあるかもしれない・・・」と書かれていることから、ここに眠ることになった。
太宰治の墓の前に森鷗外（林太郎）の墓がある。

9 旧居跡のさるすべり

A crape myrtle
故居旧址的海棠树
옛집터의 백일홍

三鷹市の和風文化施設「みたか井心亭（せいしんてい）」に、太宰治旧居の門柱わきに植えられていた「さるすべり」が移植されている。「おさん」には、この「さるすべり」が登場する。



12 連雀湯跡（現・Honda Dream吉祥寺）

The Former Public Bath Site, Renjaku-Yu
连雀公共浴池旧址
렌자쿠 목욕탕 터

かつて太宰一家が通っていた銭湯がここにあった。「十二月八日」には、小説家の妻が子供を連れて銭湯に行く場面が描かれている。

広告 コース沿いのお薦めの店

A 珈琲 松井商店 喫茶

珈琲松井商店の前身の松井商店（酒・たばこ店）には太宰もよく買い物に来ていました。太宰を主人公にしたオリジナルのDazai COFFEEは厳選した豆を最新式の自家焙煎機でブレンド。深くビターな味わいをお楽しみください。

11:00～18:00
(LO17:30)
水・木・日曜定休
三鷹市下連雀
2-16-9
☎0422-47-2303

B Rose&M レモンケーキ・焼き菓子、珈琲紅茶、雑貨販売

焼きたてスコーン、三鷹の平飼い卵を使ったレモンケーキ、自家焙煎のコーヒー、オリジナルブレンドの紅茶を揃えております。

11:30～19:00
水曜定休
三鷹市下連雀4-17-10
ひだりまきビル1F
☎0422-26-8670
https://www.roseandm.com